

船場ガイドブック
2013

今日からあなたも



**SEMBA
JIN**



船場ガイドブック 2013

INDEX

- ようこそ船場へ…………… 1
- 船場400年のあらまし…………… 2
- 船場今昔・江戸時代…………… 3
- 船場今昔・近代…………… 6
- 船場今昔・戦後から現在…………… 9
- 船場MAP…………… 11
- 船場の名物…………… 13
- 船場の伝統…………… 14
- 船場の御飯…………… 15
- 船場の探検…………… 16
- 広告…………… 17

船場ガイドブック制作にご協力
いただきました方々
 澁谷善雄（澁谷利兵衛商店）
 大橋達夫（船場地区HOPEゾーン協議会）

船場に働き暮らす多くの方から
「船場お気に入りスポット」情報の提供を
いただきました。

この船場ガイドブック2013の制作には、
愛日地域活動協議会が大阪市中央区地域振
興活動補助金を受けています。

船場ガイドブック2013制作関係者
制作
 船場げんきの会
 愛日地域活動協議会

編集会議
 青木由美子 川嶋みほ子 佐久本昇
 谷口康彦 千葉桂司 戸國剛
 西明子 橋本英男 日比哲夫
 三谷直子 森吉裕志 山田隆造

デザイン
 河村岳志

船場げんきの会 事務局
 中央区船場中央 2-1-4-411
 Tel. 06-6263-6583
 http://www.semba-genki.net

ようこそ船場へ

船場のまちは、みなさまを心から歓迎申し上げます。

大阪のほぼ真ん中にあるこの地域は、ビジネスが中心で人があまり住んでいないまち、あるいは楽しめるものはないまちと、みなさまには思われているかもしれません。でも、ちょっと周りを覗きながら歩いてみてください。歴史が少し長い分だけ、通りと筋のそここで気に入っていただけるお宝にきっと触れてもらえることでしょう。

船場の新しいまつりも、みなさまをお迎えしたくて始めました。まつりを始めた私たちは、必ずしも古くから住み・働き・暮らしてきた者ばかりではありません。それぞれが、さまざまに船場に縁をもち、愛着をもち、その心地よさを実感した者たちの集まりです。ここでそれを少し気取って、船場人と呼んでみました。

古いカフェの懐かしい空気、新しいビルの中で感じる老舗の風格、小さな居酒屋で迎えてくれる女将さんの声、近代建築を甦らせた人々のこだわり、船場の歴史文化を伝えようとする心意気、ガス灯でみちを蘇らせるまちづくりなど、いま船場のまちには、ゆっくりですが着実に、小さな元気の芽が生まれてきています。

私たちは、このような小さな芽に、船場人の温もりや船場の歴史と未来を感じながら、まちづくりを進めています。そのことをみなさまにお伝えしようと、このガイドブックをつくりました。みなさまに、このまちの心地良さや楽しさを実感していただいたら、次はご一緒に船場のまちづくりに参加されませんか。その歓びを少しでも分かち合えたら、私たちはとても嬉しく思います。

船場げんきの会 愛日地域活動協議会

船場げんきの会：歴史・文化やビジネス、まちづくりの活動を行う25のグループが連携して
平成16年に生まれた新しい活動体

船場の新しいまつり：「船場まつり」や「船場博覧会」など

船場げんきの会（25グループ/順不同）
 大阪船場井池卸連盟・大阪船場ロータリークラブ・環境デザインE.M.I.プロジェクト・北船場くらぶ・協同組合大阪久宝寺町卸連盟・堺筋アメニティソサエティ・三休橋筋愛好会・三休橋筋発展会・熟塾・船場クリエイティブポート推進協議会・船場経済倶楽部・船場研究体・せんば心齋橋筋協同組合・船場センタービル連盟・せんば鎮守の杜芸術祭プロジェクト・御堂筋まちづくりネットワーク・船場賑わいの会・太閤路地プロジェクト・「どっぶり船場じゅくりアート」DOT・長堀21世紀計画の会・東横堀川水辺再生協議会・淀屋研究会・寄合びんご・MORISEN・船場三水会

*このガイドブックは、船場に住み働き暮らす私たちが、日常利用しているスポットを中心に、船場のまちや歴史、暮らしをご紹介します。



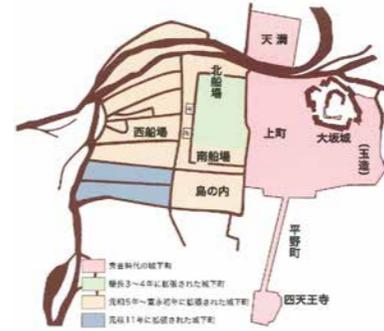
船場の位置

船場は、JR環状線の真ん中に位置して、北は土佐堀川、東は東横堀川、南は長堀通、西は旧西横堀川(現阪神高速道路)に囲まれた南北2.1km、東西1.1kmの約230haの区域です。

船場400年のあらまし

船場は埋め立ててできたまち

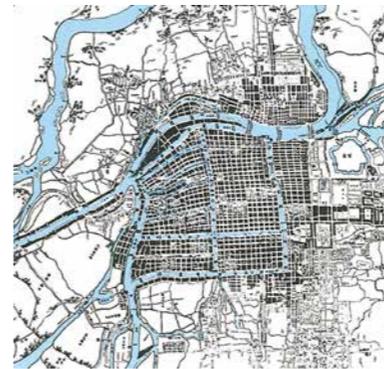
船場は、豊臣秀吉による大坂城築城に合わせ、西側の砂州を埋め立てて市街地にしたことが始まりです。大坂夏の陣で焦土となった後も、幕府直轄地となり、さらに西に埋め立てを拡大、堀川を開削することにより、大坂湾に開かれた水の都の基盤が固められました。



大坂城下変遷略図

幕末の大坂・船場

江戸時代から船場の道路は大坂城に通じる東西の通りを軸として、南北の筋が交差する碁盤の目状に市街地が作られました。大坂への主要交通は淀川・大川・安治川の舟運による物資の運搬が中心でした。



幕末から明治の大坂・船場（明治5年）

近代以降の市街地拡大

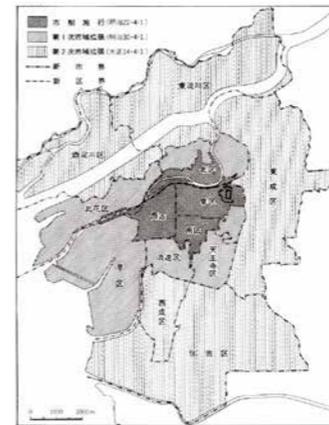
明治22年にほぼ幕末の市街地領域で市制が敷かれます。人口増加により、明治30年に第1次市域拡張を実施、さらに大正14年に第2次市域拡張がなされ、ほぼ現在に近い大阪市域となります。

大正14年の船場の人口は63,700人。最も人口が多かった時期です。

戦後は、さらに都市に人口が集中し、大阪都市圏では、郊外化が進みました。昭和40年以降、大阪市の人口は減少し、いわゆるドーナツ化現象が生まれました。船場もどんどん人口の減少が進み、平成12年には3,900人。最も人口が多かった時期の6%となり、まさにドーナツの穴のような状態になりました。

近年は大阪市の人口と共に船場の人口も増加傾向に向かい、新たなビジネスや暮らしの文化が育まれてきています。

注：大阪の表記は原則として、江戸期までを「大坂」、明治期以降を「大阪」としています。



大阪市域の変遷

《参考文献》図説大阪府の歴史（河出書房新社） 大阪市の歴史（大阪市史編集所・創元社） 新修大阪市史（大阪市）

船場・大阪のできごと

蓮如 石山御坊創建……………	1496	(明応5)
秀吉大坂城築城開始……………	1583	(天正11)
東横堀川開削……………	1585	(天正13)
慶長の大地震……………	1596	(慶長1)
秀吉没す……………	1598	(慶長3)
西横堀川開削……………	1600	(慶長5)

大坂夏の陣……………	1615	(元和1)
住友家大坂に銅商店を開業……………	1630	(宝永7)
鴻池善右衛門両替商創業……………	1656	(明暦2)
淀屋開所処分……………	1705	(宝永2)
懐徳堂開設……………	1724	(享和9)
人口：大坂三郷 42万人……………	1765	(明和2)
難波神社内に人形浄瑠璃小屋……………	1811	(文化8)
適塾開設……………	1838	(天保9)

伊藤忠兵衛「紅忠」創業……………	1872	(明治5)
大阪株式取引所開業……………	1878	(明治11)
町立幼稚園開園(愛珠幼稚園の前身)……………	1880	(明治13)
文楽座が御霊神社に移転……………	1884	(明治17)
淀川大洪水……………	1885	(明治18)
大阪市制の施行……………	1889	(明治22)
第1次市域拡張……………	1897	(明治30)
大阪道修業学校創立……………	1904	(明治37)
人口：大阪市 107万人……………	1905	(明治38)
市電東西線開通(四ツ橋～末吉橋)……………	1908	(明治41)
市電堺筋線開通(大江橋～日本橋3)……………	1912	(明治45)

市電鞆本町線開通(川口町～谷町3)……………	1913	(大正2)
堺筋幅幅(軒切り)……………	1916	(大正5)
大阪市区改正設計……………	1919	(大正8)
関東大震災……………	1923	(大正12)
第2次市域拡張……………	1925	(大正14)
人口：大阪市 211万人 船場 63,700人……………	1925	(大正14)

大阪城天守閣再建・綿業会館竣工……………	1931	(昭和6)
地下鉄御堂筋線(梅田～心斎橋)開通……………	1933	(昭和8)
大阪ガスビル竣工……………	1933	(昭和8)
地下鉄御堂筋線(梅田～難波)開通……………	1935	(昭和10)
御堂筋竣工……………	1937	(昭和12)
船場建築線指定……………	1939	(昭和14)
人口：大阪市 325万人 船場 56,600人……………	1940	(昭和15)
大阪大空襲……………	1945	(昭和20)

校区併合で愛日・集英の2小学校へ……………	1947	(昭和22)
市電東西線廃止……………	1961	(昭和36)
東海道新幹線開通……………	1964	(昭和39)
阪神高速環状線開通(土佐堀～湊町)……………	1964	(昭和39)
地下鉄中央線開通、市電鞆本町線廃止……………	1964	(昭和39)
長堀川埋め立て……………	1964	(昭和39)
市電堺筋線廃止……………	1966	(昭和41)
地下鉄中央線開通、地下鉄堺筋線開通……………	1969	(昭和44)
日本万国博覧会開催……………	1970	(昭和45)
中央大通開通・船場センタービル開業……………	1970	(昭和45)
御堂筋パレードスタート……………	1983	(昭和58)
芦池小、道仁小、大宝小が統廃合……………	1987	(昭和62)
東区・南区合区……………	1989	(平成1)
愛日小、集英小が統廃合……………	1990	(平成2)
阪神淡路大震災……………	1995	(平成7)
御堂筋の高さ制限の緩和(50m)……………	1995	(平成7)
地下鉄長堀鶴見緑地線開通……………	1996	(平成8)
地下街クリスタ長堀・長堀駐車場開業……………	1997	(平成9)
人口：大阪市 260万人 船場 3,900人……………	2000	(平成12)
大阪産業創造館開業……………	2001	(平成13)
人口：大阪市 267万人 船場 9,500人……………	2010	(平成22)

天下の台所とうたわれた時代

船場今昔

江戸時代

大坂夏の陣により、大坂は廃墟になりますが、大坂城の西に埋め立てを進め、瀬戸内海に開かれた水運の拠点としての地の利を活かし、長崎貿易や蔵屋敷の物資、諸国の特産物が集まります。当時、「天下の台所」とうたわれた船場のまちと船場人の暮らしを、「撰津名所図会」「浪花百景」などによってご案内しましょう。

まちの玄関は大川河岸

江戸時代、大坂の玄関となっていたのは大川河岸です。京都からは淀川を下って大川に入り、全国からの物資や人は北前船などによって大坂湾から安治川、大川に入り、中之島の蔵屋敷の浜や淀屋橋、八軒家浜に着きます。また、陸路では京街道、中国街道、紀州街道などは高麗橋を起点としていました。

堀川と東西の通りが水都の始まり

安治川・大川から小舟で堀川を経由して、まちなかに物資が搬入されて来ます。船場のまちは西に埋め立てられて拡張したことから、人や物資が大坂城下に向かって流れる東西の通りが主軸となり、大商家は本通りに面して店を構えました。船場の通りは23、南北の筋は13あり、川と堀川に囲まれた船場には39の橋がありました。

長崎貿易と諸国蔵屋敷の物資で賑わう

江戸時代の唯一の貿易港は長崎。生糸・唐物(洋反物)・唐薬種などが輸入され、これに対して金・銀・銅・俵物(海産物)が輸出されていました。これらの商品は、幕府の管理の下、長崎商人から大坂の長崎問屋のルートで大坂に集まりました。さらに、蔵屋敷に集まる諸藩の諸物が集中する経済の中心が大坂でした。そして、船場にはこれらの物資の取引が行われる特徴あるまち(通りや筋)が生まれました。



改正増補国宝大阪全図(文久3年)

個性ある通りや筋

淀屋橋①は船場の玄関口

淀屋橋南詰は、「金毘羅参詣に向かう船や明石へ通う船の船着場で旅館が建ち並び昼夜共に賑わう」と言われ、煙草入れなどの土産物屋などもありました。ここには淀屋屋敷②があり米相場が開かれていました。堂島に米相場が移った後も、正月の初市はここで開かれていました。京都から淀川を経由して三十石船が到着するのが八軒家浜③で、天神橋④の東にありました。八軒家浜を起点に熊野本宮に向かうのが熊野街道です。

淀屋②の關所(けっしょ)

淀屋は秀吉の時代から、江戸時代初期にかけて大坂繁栄の基礎を築いた豪商でした。淀屋の初代常安は、秀吉の時代に大坂に移り淀川の築堤や中之島の開発に力を注ぎ蔵屋敷の建設の礎を築き、二代目常安は鞆市場、米市場の開設など大坂経済の基礎を築きました。その五代目廣当において巨額の大名貸、騎奢の生活が幕府の忌諱(きい)にふれ、宝永2年(1705)に關所(財産没収・所払い)処分がされました。この關所を契機に、鴻池、住友など大坂町人が学んだ教訓が「拡大より安定」「多角化より一業専心」の徹底で、数多く作られた家訓などに表れていると言われています。關所後の淀屋は多くの謎を残しています。(淀屋の謎解きは淀屋研究会へ)

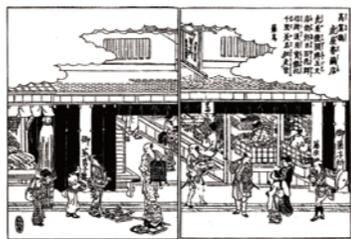
高麗橋⑥は西日本の街道の起点



高麗橋(浪花百景)

高麗橋は、江戸の日本橋、京都の三条大橋と並んで三名橋といわれ、京街道を含む東海道五十七次、中国街道、紀州街道など西日本の街道の起点でした。現在、橋の東詰に里程元標が立っています。また、西詰には櫓番所屋敷が両側にあつて、御触書が掲示される高札場がありました。

今橋⑬・高麗橋には両替商と有名商店が建ち並び



高麗橋虎屋(図会)

今橋には両替商の鴻池家⑭、平野屋五兵衛⑮、天王寺屋五兵衛⑯の店などがあり、高麗橋は一丁目から西に岩城呉服店⑰、三井呉服店⑱など呉服を扱う店が多く、三丁目には三井両替店⑲とともに名物の饅頭を売る虎屋⑳があり、「終日買う人絶えず」とあります。

高麗橋西詰から西へ3筋目は堺筋で、紀州侯の参勤交代行列の通り道であったことから紀州街道ともいい、砂糖商が多かったところだ。

撰津名所図会は図会、撰津名所図会大成は大成と表記

北浜は経済の要

難波橋⑤南詰の東にある金相場濱⑦は「浪華市中の両替屋ここに集まり、毎日、金の売買をなし相場をたて金の値を定める」とあり、さらに金融・取引に関連して秤座⑧、銅座⑨などがありました。また、金・銀・銅とともに中国貿易の決済に使われた俵物(干鮑やフカヒシなど)を全国から買い付け、長崎に送っていた俵物会所⑩もありました。金相場濱の東側にある築地が蟹島(かにしま)⑪で、ここに橋杭がない葎屋橋(よしやばし)⑫が架かっていました。ここは眺望もよく、花外楼を始めとする料亭が並んでいました。



築地蟹島(浪花百景)

鳥屋町⑲の賑わい

備後町、安土町間の八百屋町筋に両側鳥屋が軒を並べて俗に鳥屋町という坊があり、鳥の市が毎日あって賑わっていました。「孔雀・鶴から雀・燕、鶯、ウズラ、オシドリなどの我國の鳥は言うまでもなく、異国の鳥獸にいたるまで蓄え、ヤマガラに曲をさせ、オウムに言わせて来客をもてなすも一奇の活業というべし」とあります。



八百屋町飛禽店(図会)

本町通は古着問屋のまち

「本町二丁目より四丁目にわたり古着の問屋軒を連ね、毎日、浪花市中及び近国近郷の質の流れを買い集め、絹布上下の品を仕分け遠近の国に積み送る」とあり、軒の深い店先に3日間商品を並べ、盗難品でないかを確かめて商い、遠くは北海道、九州からも訪れる古着問屋のまちでした。一方、「古手の市店は坐摩の前などにもあまたありといえどいずれも小売店にて問屋というは此所なり」とあり、坐摩神社⑳門前は、小売古着商が並んでいたようです。

弥次さん喜多さんの大坂見物 東海中膝栗毛

弥次さん喜多さんは、京都から淀川を下って八軒家浜に着き、西へ高麗橋をわたり、堺筋を南に、長町に宿をとり、翌日から大坂見物に出かけます。途中で坐摩の富くじを拾って当たり番号で大はしゃぎ、新町遊郭で散財した後、組連とわかりしょんぼりの物語です。2人の廻った船場は、富くじを拾った横堀通、坐摩神社㉑、御堂の穴門㉒、難波神社㉓、順慶町の夜市、井戸の辻、新町橋となっており、特に順慶町の賑わいは詳しく描かれています。

伏見町・道修町は輸入品が並ぶまち

伏見町は異国産物を種々、道修町は薬種を商っていました。伏見町(現在の伏見町3丁目)は「四丁にわたり唐物の店が軒を並べ異国の産物を何くれとなく店に飾って商う。一品も吾国の産物を交えず」とあります。

道修町は「およそ五六丁の間すべて薬問屋が軒を連ね、和漢の薬種の真偽をただし、買い貯え、上品と下品を選りわけ、塵を除き、洗ひ、或いは刻んだりし、諸国の薬店の注文に応じて全国に運送することを業とする」とあります。



伏見町唐高麗物店(図会)

御堂前(御堂筋)には人形屋が集まる

北御堂㉔・南御堂㉕の両御堂は「慶長の末にここに御堂を移され、南北御堂ともに荘厳麗麗にして他に比類無し」といわれ、その門前には「北御堂の前より南御堂の前の八丁の間に人形店が軒を連ね、初春の羽子板・手鞠、弥生の雛人形など、浪花市中は言うに及ばず、近在及び遠国より来たりてその繁盛する」とあります。

順慶町は夜店で賑わう

新町遊郭㉖に連なる通りで「東は堺筋、西は新町橋㉗までおよそ十丁の間両側の隙間もなく店が並び、四季を問わず夕暮れより、萬燈を照らし、種々に品を飾って、これを商う。頭から足先まで揃わないものはなくその繁盛は比類無し」とあり、また「橋より西は新町の花街なれば夜が更けるまで賑わう」とあります。



順慶町夜店(図会)

近松門左衛門が生まれて360年

近松門左衛門(1653~1724)の浄瑠璃には船場を舞台にした作品が多くあります。その代表的なものが「女殺油地獄」と「冥途の飛脚」です。

女殺油地獄

油問屋河内屋の放蕩息子と兵衛の暴走物語で、向かいの同じ油問屋豊島屋の女房お吉に借金が無心に行き、断られて起こす殺人事件です。この油問屋がある舞台は本天満町㉘、現在の伏見町2丁目にあたります。(当時、伏見町は東から本町、本天満町、伏見町、兵衛町に分かれていました)

冥途の飛脚

歌舞伎でも「封印切」として度々上演される浄瑠璃で梅川・忠兵衛の心中物語。「身をつくし難波に咲くや此の花の。里は三筋に町の名も佐渡と越後の合の手を。通ふ千鳥の淡路町亀屋の世継忠兵衛」で始まる浄瑠璃の主人公亀屋忠兵衛の飛脚問屋があったのが淡路町。現在淡路町3丁目の「吉野寿司」㉙の店先にその碑が建っています。

お知らせ

船場まつり講演会「船場と淀屋」

10月5日(土) 13:30~16:00
会場 綿業会館(備後町2-5-8)

講演 : 江戸時代初期の豪商「淀屋」(旭堂南青)
ハーブ演奏 : アルパのささやき(丸田恵都子)
講演 : 近松門左衛門の描いた浪花と商人(井上勝志)

主催: 淀屋研究会(問合せ 090-3263-4108)

近世船場の風物詩

船場の祭は夏祭

都市の祭は、疫病退散、無病息災を祈る夏祭が中心で、各神社それぞれに内容にも特徴がありました。夏は商家が暇な時期でもあり大いに賑わったようです。夏祭には、商家では「金蒔絵の定紋をつけた三尺あまり宮入提灯を男子の数だけ表に立て、格子を外して毛氈を敷き、屏風を立てて飾った。そして、祭りの御馳走は鯉の骨きり、鯉の塩焼き、もみ瓜の膾（なます）、それに蛸がなければならぬ。それに焼酎と味噌を割った夏の飲み物『柳影』がつきもの」（宮本又次・船場）と書かれています。

坐摩神社²³は地車(だんじり)

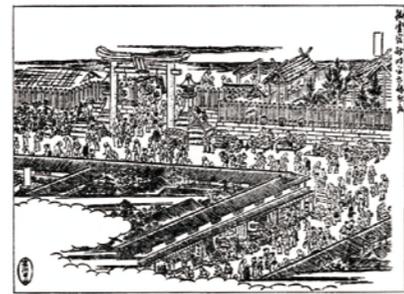
「船場の中央にあり。夏祭の神事に神輿を御旅所へ渡して産土（うぶすな）の人々がそれぞれに練物をだして壮麗たる祭式なり。特にこの社は繁華の中なれば常に詣人多く、お店が社前に連なり、芝居見世物もあり」という賑わいです。



夏祭車楽囃子（図会）

御霊神社²⁷は、武者行列に船渡御

「夏祭といえは御旅所へ渡御なり。淀屋橋から神輿乗船、下博労御旅所へ大川筋に行く。伴をする船や河岸の蔵屋敷が大篝火を焚いて、水陸の行粧美しく、墨筆に尽くし難し」とあります。



御霊宮（大成）

上難波仁徳天皇宮（難波神社²⁸）は布団太鼓

新町遊郭²⁵が近くことさら華やかで、「夏祭は、祭礼厳重にして楽備参勤あり、道路音楽あり新町傾城廓など産土にして賑わしき祭なり」常に参詣が多く、芝居・見世物・軍書読・小売店も連なり賑わう。地方の人でも大阪見物の時はまずここに参詣する」とあります。



布団太鼓（図会）

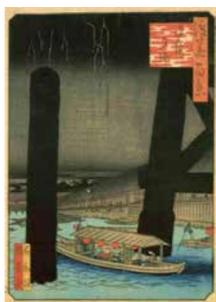
季節の楽しみ

夏は夕涼みに、冬は牡蠣船。川と堀川は舟運だけでなく、人々の楽しみの場所でした。

難波橋⁵

「大川第三の大橋なり。この橋の上より東西の眺望佳景なり、左右を見めぐらせば十有余橋を眼前にあり、浪華無双の奇観なり」南詰を船場北浜町という。夏の夕べは浜側に納涼の茶店床を並べ川風に苦熱を忘れる客をもてなす」

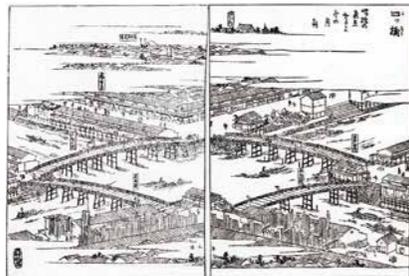
涼しさをながれと思ふ難波橋
夕すすみ月も難波の橋の数
希図
我黒



浪花橋夕涼（浪花百景）

四ツ橋³⁰

長堀川と西横堀にかかる橋で、「二流十文字になりて橋を四方に渡す。四つの橋の行人、漕ぎわたる船の往来絶え間なくして風景料ならず」

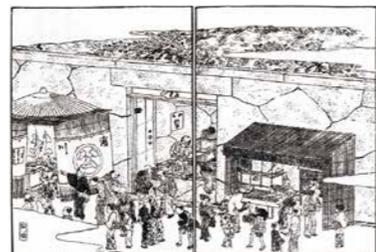


四ツ橋（図会）

涼しさに四ツ橋を四つわたりけり
乙洲
来山

穴門²⁹

南御堂の裏側で坐摩神社²³に通じる石垣に穴門があり、「夏日といえども暑気を徹（とお）さず清涼なり。ここで西瓜を商う店をだして名物とする。多くの人はここに暑をさけて西瓜を食べる。穴門の西瓜と称して名高し」とあります。



南御堂裏穴門（大成）

牡蠣船（かきぶね）

「浪花中の橋下にあり。広島より例年十月中旬大坂に入津し年来馴染みの浜に船をつなぎ河岸に小屋をしつらえ、ここで牡蠣を割って商う。凡そ十月二十日の頃を売始とし船中にて牡蠣一式を調味し、汁も膾（なます）も牡蠣の料理で客をもてなすことが流行った。いわゆる浪華の一奇なり」と言われ、牡蠣船は冬の風物詩になっていました。



牡蠣船（大成）

大大阪と呼ばれた時代

船場今昔 近代

明治維新により一時、大阪の経済は停滞しますが、木綿生産地や繊維問屋の背景を活かし繊維産業の振興、砲兵工廠や造幣局から派生する重化学工業振興など、近代工業化が進みます。東京をしのぐ繁栄を築いた「大大阪」の時代の船場のまちと船場人の暮らしを「大阪繁昌誌」や「近代大阪」などによってご案内しましょう。

大阪の玄関は梅田と築港に

明治に入り鉄道、蒸気船などの近代的物流交通拠点整備が築港・梅田で進むとともに、市街地では橋の架け替えや道路の拡幅、市電の敷設などが行われました。人口と市街地が拡大し、郊外に向けて難波・上本町・天神橋などにターミナルが整備されていきました。

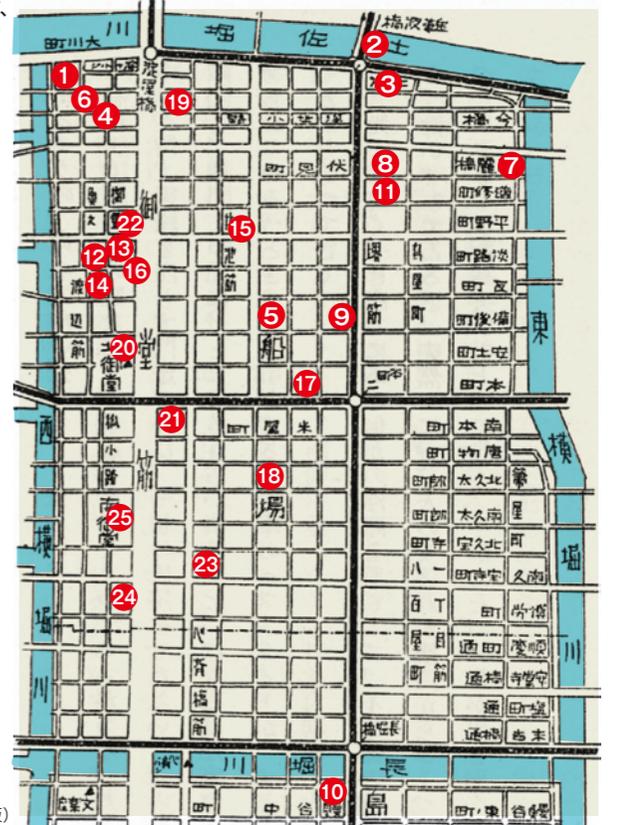
東西軸から南北軸へ都市の大改造

明治初年に28万人だった人口も明治38年には100万人を超えます。都市問題に対応していくため大正8年に大阪市区改正設計を作成、御堂筋など、近代的都市基盤整備が始まります。船場ではそれまでの大川と東西の通りを中心としたまちの骨格から、市電通りを軸とするものへと移行し、さらに御堂筋の事業化により南北軸のまちへ大きく変化していきます。（昭和15年に人口325万人）

工業化による繊維貿易の中心に

明治維新により蔵屋敷の廃止、株仲間の解散など経済・金融の制度が変化し、大阪の経済は停滞。数多くの両替屋始め富豪が倒産しました。しかし、木綿生産地の河内地域や繊維問屋を背景とした紡績工業、砲兵工廠や造幣局から派生する重化学工業の振興により、近江商人を始め新たな人々が参入し、活力を取り戻していきます。船場においても市電の通る街路や御堂筋沿道に、近代的建物の企業本社が建設されていきます。また、船場の通りと筋でも、建物を道路より後退させ高層化を誘導する船場建築線が昭和14年に指定されました。

昭和初期の船場（近代大阪）



個性ある通りや筋

淀屋橋周辺は大大阪の中核に

明治中頃までは旅館や川魚料理店が並び、夏には遊船の賑わい、水辺の干満の情緒があり、通りも「町柄もよく繁昌の筋なり、橋の南詰には煙草入屋多く、淀屋橋煙草入屋として有名なり、又此の筋の平野町に寄りたる処には呉服店多し」と言われました。しかし、市電の開通や御堂筋の拡張に伴い河野の古い面影は消え、明治後期以降は銀行や新聞社、保険会社など近代産業の本社ビルが建ち並んでいきます。住友銀行は明治41年に大川町に洋館の本社を建設、昭和5年に住友ビルディング¹に建て替えます。



淀屋橋からみる
土佐堀通りと
住友ビルディング

北浜はやはり金融取引の中心

難波橋²南詰の金相場会所跡に株式取引所³ができて「明治11年創業にして、当初は公債証券の売買を専一にし、13年頃より銀貨の売買を始め、17年から諸会社の株式の売買を始め、最初は大阪商船会社、その他鉄道会社、今日は諸鉄道会社、紡績会社、銀行など種々の株式売買盛大なり、仲買人も創業当初は30名ばかりなりしが今日は100名に充てり」と産業の発展ぶりを示し、近代に入っても金融の中心でした。昭和10年に株式取引所は建て替えられました。



堺筋からみる北浜、
右手前は株式取引所

堺筋は大阪随一の近代街路

堺筋は明治後期には「此所に富豪の問屋軒を並べ、なかでも砂糖問屋が数多く、絵具商これに次ぐ」と言われました。さらに、明治45年に市電が開通、大正4年に難波橋²が堺筋に付け替えられ市電が天神橋へ延伸、大正5年にはプラタナスの街路樹が植えられて、金融機関、百貨店が建ち並ぶ大阪随一の近代的街路となりました。そして高麗橋は「船場にて最も場所柄良きところにして、銀行会社及び有名な商店多し。それが中にも三井呉服店、山中骨重店などその名高し」とされ、「時勢の変遷につれ虎屋・岩城呉服店はなく三井の繁昌を見るのみ」と言われています。



北浜からみる堺筋、奥から三越百貨店、三井銀行、
第三銀行、左一番手前が株式取引所

道修町は薬問屋が集積

道修町は「薬種商を以て充たさる。平野町淡路町にも多少の薬種商あり。道修町の薬種屋とて世に名高し」と言われ薬問屋の集積が拡がっていきます。しかし伏見町は「元は唐物商壺器店多かりしも今は無し」とされ、西寄り呉服町の伏見町戎社は「毎年十月廿日の誓文払には賑わう、此處昔呉服商多く今に此筋に呉服橋とて西横堀に架かるはその名残なり」とその賑わいが記されています。



明治から大正の道修町

本町通りは呉服太物商

「東は大坂城馬場に通じたる街筋なり、本町橋以西心斎橋以東は町の位もよく、なに屋なに屋とて毎月の暖簾を軒に掲げたる太反物商あり、多くは諸国よりの出店にして富豪を極む」と、かつて古着問屋として栄えたところが明治に入り、近江の伊藤忠兵衛商店**17**（丸紅の前身）などが進出、五緯八社といわれる繊維商社のまちとして展開していきます。



伊藤萬商店

久太郎町に三品取引所

三塗物師や漆器商・唐小間物商が多かったが、明治以降繊維・衣服商が増え、明治 26 年には綿糸・綿花・綿布の三品取引所 **18** が北久太郎町3丁目に開設され、ますます繊維取引の中心になっていきます。

久宝寺町は小間物商、井池筋は道具商

久宝寺町は「小間物商多し。地方の者は皆此所に来たりて小間物を仕入れる」とあり、井池筋は「北は瓦町より南は博労町に至るこの筋に道具商頗る多し」とあります。

＊小間物：べっこう・花かんざし・元結など髪飾りや化粧に使う道具、組紐など着物を着る時の小物など

船場からのビジネス[1] 高麗橋で大正結婚式

滋谷利兵衛商店 **7** は創業享保9年（1724）の饅館商。七代目滋谷利兵衛は、江戸時代後期から明治末期までの結婚式を研究。美粧・結髪・写真・披露宴などの流れを考え、これに御霊神社の神職と大阪ホテルの宴会部長が加わり、ホテルの結婚式スタイルを作りました。大正 12 年頃の話で「大正結婚式」と名付け、両家の手を煩わせずに結婚式と披露宴を行う方式を提案、大流行になったと言われています。



滋谷利兵衛商店

平野町は大阪五大商店街のひとつ

「京町堀を経て川口に通ずる町筋にして、地勢東区の中央に位するを以て、その繁昌いわんかたなし、殊に中橋筋以西には小間物店下駄商等多し」。平野町は明治後期には心斎橋筋や天神橋筋などともに市内の五大商店街のひとつでした。ことに明治中期から大正にかけては御霊神社**12**の文楽座の賑わいも加わり、御霊神社前筋は呉服店が建ち並び「門前の浪花筋 **13**」と云えるは近頃その普請を営みし盛大なる動商場にして・・・世の中にありとある種々の物を集めて各自に店を張り、商業に勉強せるさま、中々にめざましき次第なり」と商業の賑わいを記しています。その後道路拡幅がなされ、昭和7年の「近代大阪」には「車道、人道と分かれた新しい舗装道路、青桐の街路樹、美しい街灯、それに新しい家と目も覚めるようなウインドウなどで・・・夜の最も遅い町、最も明るい町、最も歩くのによい町、平ぶらという言葉が出てくる町、カフェ、飲食店の多い町、そして大阪市中で、かなり贅沢な喫茶店などをもつ町である」と紹介されています。

御霊神社12 境界は大繁華街

平野町の南に位置する御霊神社は「境内に末社多く、種々の興行席あり、毎月の一六の縁日には露店が多く出、御霊の一六とて大阪市中一の縁日といわれる。ここに文楽座という浄瑠璃があり、越路大夫の美声を以てなり・・・」と文楽座の賑わいを記するとともに「神社の四隣は常に参詣人群集する処なれば、寄席、揚弓店、射的場、小間物店、写真店、絵草紙屋など多く」さらに周りには、幾代亭**14**（淡路町）、此花亭**15**（平野町）の寄席、御霊倶楽部**16**（淡路町）の映画館がありました。当時、文楽座は船場の旦那が集まる場所だったので、男女共服装や髪の様子が極めて良く、また有名な小鯛すしなどの食べ物屋が近くにあり、平野町の夜店と共になにわ情緒を満喫させたと言われています。



御霊神社と文楽座（左手）

船場からのビジネス[2] 道修町からサントリー

鳥井信治郎は、明治12年に釣鐘町の兩替鳥井忠兵衛の次男に生まれ、13歳の時に薬種問屋小西儀助商店 **11** に丁稚奉公に出ます。当時小西商店では和漢薬のほかに洋酒も取り扱い、ビールも製造していました。鳥井信治郎は明治32年に独立、西区靱で鳥井商店を開業。葡萄酒の製造・販売を始め、明治39年店名を寿屋洋酒店と改め赤玉ポートワインの製造販売を始めます。ここから今日のサントリーへと発展します。

百貨店が建ち並ぶ堺筋

三越 **8** は大正6年に高麗橋に、白木屋 **9** は大正10年に備後町2丁目に、高島屋 **10** は大正11年に長堀橋に出店し、船場堺筋に3店の百貨店が建ち並ぶことになります。当時の百貨店は、建物は高層になりましたが、入口に下足番があって下駄を預かり、靴にはカバーをかけてくれました。百貨店といっても日用品、食料品もありませんでした。百貨店のまちといわれた堺筋も、地下鉄御堂筋線の竣工により徐々に賑わいが薄れていくことになります。

三越の少年音楽隊から宝塚少女歌劇

三越百貨店東の洋館には舞台があり、子供博覧会・児童劇などの催しと専属の少年音楽隊がありました。この音楽隊にヒントを得て、小林一三がつくったのが宝塚少女歌劇団で、宝塚少女歌劇の第1回公演が行われたのが大正3年。今年は創立100周年にあたります。

大阪で初めてのラジオ放送は三越から

当時大阪放送局は高麗橋の三越の屋上にあり、仮放送を行ったのが大正14年です。

戦前の御堂筋

船場に飛行場をつくるのかと市民を驚かせた御堂筋は昭和2年に梅田から大江橋北詰まで完成し、昭和8年には地下鉄御堂筋線（梅田～心斎橋）の開通とともに船場地区の御堂筋が完成しました。

淀屋橋付近

淀屋橋の南西部には住友銀行など、南東の御堂筋沿いには日本生命本社ビル **19**（写真の高い建物）はじめ近代的建築が建ち並びます。



昭和10年頃の御堂筋（淀屋橋付近）

大阪ガス22

創業は明治30年。御堂筋に昭和8年大阪ガスビルを建設。ガス事業の本社としてだけでなく調理機器の陳列、料理教室、映画、コンサート、ガスビル食堂など近代都市生活のショールームとして親しまれています。

大大阪の文化・風物詩

大阪の社交場

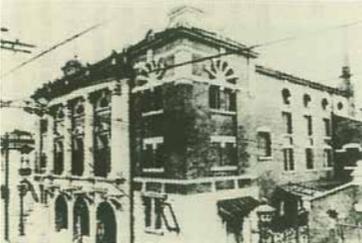
大阪実業界の発展とともに大正元年に紳士の社交場として設立されたのが大阪倶楽部 **4**。初代の建物は焼失し現在の建物は大正13年に完成しました。その後、日本綿業倶楽部の綿業会館 **5** が昭和6年に完成します。

劇場（しばい）のまち大阪

『南海鉄道案内』には「劇場は実に大阪第一の名物でまた大阪人が第一に好む処です。否、他府県から入りこむ人も大切の用務の他はまず芝居の見物が第一の目的である」とし、「浪花座・中座・角座・朝日座・弁天座の五座の繁昌は大阪が東京に優る一つに数えられる」としています。さらに、人形劇場「文楽 **12**・稲荷 **24**」の二座あって文楽は平野町の御霊社内、稲荷は博労町の難波の社内、互いに互角の勢いを張っています。文楽座は越路大夫の美声を以て囃り、稲荷の方は団平の妙手を以て響いている。・・・浄瑠璃は大阪の特有物にして、東京にまさる否、天下に誇るべきものなり」とあり、文楽（人形浄瑠璃）の人気を誇っています。そして、劇場は船場の旦那、御寮さんの社交場でもありました。

帝国座 6

川上音二郎は福沢諭吉の書生、記者、歌舞役者などを経て、大阪で壮士として活躍、岩下清房らの支援を得て明治43年に帝国座を建設。翻訳劇などにも取り組みます。東京に築地小劇場が誕生する（大正13年）15年前のことです。



帝国座

船場の学校

江戸時代に通塾や懐徳堂など私塾を生み出した船場の伝統は生きています。

道修町に薬学校

明治37年に薬種商で働く男子を対象に道修薬学校が設立、翌年には女子を対象として道修女子薬学専門学校が設立されています。前者は後の大阪大学薬学部に、後者は大阪薬科大学になっていきます。

芝川ビルには花嫁学校

伏見町の芝川ビルに、昭和4年「芝蘭社家政学園」という花嫁学校ができました。洋裁、和裁、習字、生け花、割烹など多彩な授業を開講。昭和18年の閉校まで3,000人を超える「いとほん」たちが学んだ現在の女子短大のはしりです。

《参考文献》
大阪繁昌誌(宇田川文海)
南海鉄道案内(宇田川文海)
近代大阪・近畿景観第三編(北尾鏡之助・創元社)
御堂筋景観図(毎日新聞社)
続東区史第3巻(大阪市東区役所)
定本船場ものがたり(香村菊雄・創元社)
写真で見える大阪市100年(大阪市)
写真集明治大正昭和大阪㊦(国書刊行会)
明治大正なにわ百景(野村廣太郎)
船場(宮本又次・ミネルヴァ書房)
サントリーの70年II(サントリー株式会社)

心斎橋筋商店街の時計塔

「心斎橋以北の北浜に至る間も商業頗（すこぶ）る盛大なる処にして人車の往来きもきらず、街頭に雲つくばかり高く聳ゆる建物を石原、澁谷、北出の三大時計店と言ふ。何れも樓上に大時計を置きて時間を報ず」。このように時計店が有名で、他に洋品雑貨や書籍店が多かったようです。

心斎橋筋の三木書籍店 **23** は、文政8年（1825）書籍業「河内屋佐助」として創業、その後楽器楽譜の出版を行い大正15年（1925）の創業100年に「大阪開成館三木佐助商店」と改称しています。現在の三木楽器です。



唐物町付近の心斎橋筋の誓文（せいもん）払い（野村廣太郎）

水都大阪・淀川の納涼は日本一

『南海鉄道案内』では「淀川の納涼は大阪繁昌の一に数えるにたるものです。京都の四条と東京の両国と昔から是を三納涼と呼ぶが、両国は川が深くて水が濁って殺風景、四条はまたそれに反して水はいかに清いが川が浅すぎ、僅かに足を浸すのみ。『京都の人は僅かの水で涼んでる』という川柳がある。是に比べるると大阪は川廣く、水清く、橋大いに、通い船あり、船生け洲あり、中之島公園を控え、築地の料亭に沿い、風景に富み、酒食に便に、水陸ふたつながらによるしい」と記し、水都大阪をおおいに自慢しています。

縁日

『大阪繁昌誌』によると、船場の縁日は、平野御霊・内平野町神明が一日六日、順慶町天神宮が二日七日、渡辺橋筋の坐摩宮が七日、博労町の稲荷が三日九日となっており、月のうちほぼ半分が縁日だったと言えます。

問屋街の屏風祭

問屋・商店では道路に面した店の間が格子の部屋となり揚げ床机が付けてあります。格子は昼間は外され床机は揚げ店になります。中に小さな格子づくりの結界があり営業所と応接間を兼用。祭になると全面毛氈を敷き、金屏風・銀屏風を並べて飾り付けお祝いをします。



問屋街の屏風祭（野村廣太郎）

御堂さんに女学校

北御堂 **20**・津村別院：明治 21 年津村別院の建物の一部を校舎として相愛女学校が開校、市電本町線敷設に伴い赤煉瓦の新校舎を大正 5 年に新築しています。南御堂 **25**・難波別院：明治42年難波別院境内に大谷女学校が開校、しかし御堂筋の拡張により佳吉区に移転しました。

わが町船場(開平小学校)
御堂筋景観図(毎日新聞社)
続東区史第3巻(大阪市東区役所)
定本船場ものがたり(香村菊雄・創元社)
写真で見える大阪市100年(大阪市)
写真集明治大正昭和大阪㊦(国書刊行会)
明治大正なにわ百景(野村廣太郎)
船場(宮本又次・ミネルヴァ書房)
サントリーの70年II(サントリー株式会社)

高度成長・国際化・空洞化を経て

船場今昔

戦後から現在

第二次世界大戦により再び大阪は焼け野原となりますが、地の利を活かし、いち早く現金問屋街として復興するとともに、高度成長期には問屋から商社へ、国際化の中で総合商社へと飛躍を遂げていきます。一方、都心の空洞化も進行。このような戦後から現在にかけての船場のまちの移り変わりと暮らしを私たちがご案内しましょう。

戦災後の船場

戦災の傷跡が残る昭和20年代の船場。真ん中の太い軸が御堂筋、左に西横堀川、御堂筋の右に船場の各筋が通り、6本目が堺筋です。江戸時代からのまちの骨格が残っているのが船場です。



戦後の船場（昭和20年代）

大阪の2大ターミナルの梅田・難波

新幹線、航空機など都市間交通の変化と共に、梅田・難波のターミナル機能が拡大、自動車交通の増加、市街地交通が市電から地下鉄へ変わる中で、御堂筋を軸とし地下鉄駅を核とする構造に変化してきました。そして堀川は埋め立てられ車を中心とするまちに変化しています。

高度成長・国際化・空洞化を経て

戦後とその後の高度成長期に、井池周辺問屋街は現金問屋街を形成、繊維商社や貿易商は総合商社として発展する一方で企業流出も起きました。大阪都市圏の人口は増加し郊外化する一方、都心人口は減少して行きました。近年は人口も回復傾向、文化的活力も取り戻しつつあり、通りや筋でまちの魅力を掘り起こす活動がおこなわれています。

個性ある通りや筋

御堂筋 淀屋橋から本町

昭和30～40年代に御堂筋にビルラッシュが起こり、ほぼ高さの揃った整然とした景観ができあがりました。



本町交差点以北の御堂筋（昭和50年代）

淀屋橋から本町にかけては金融・保険

土佐堀通の淀屋橋から西には住友銀行はじめ住友グループが立地。御堂筋の淀屋橋から本町にかけては、かつて三和銀行・日本生命・東京海上火災など金融・保険会社が多く立地しました。

本町周辺は総合商社

唐物商から貿易商に転じた岩井文助（後の日商岩井）や伊藤萬助（伊藤萬）、太物繊維から貿易に転じた伊藤忠兵衛（伊藤忠・丸紅）など本町周辺では、戦前に勃興した貿易商・繊維商社が、戦後は更に総合商社への展開を図り、大阪を代表する国際的企業に成長し、本町通や御堂筋に立地していきました。

みちから広場、イベント会場へ

御堂筋は交通道路としてだけでなく、近年は交通規制を行い、野球球団の優勝記念パレードや御堂筋KAPPO・御堂筋フェスタなどのイベントや、光のルネサンス、大阪クラシックなどまち行く人々が楽しめる広場として活用が広がっています。ここでは沿道企業が協力し、街路の特性を活かしてより快適な沿道環境をつくるべく、清掃や企業クーパーなどを活用した御堂筋ギャラリーなどの活動を行っています。



御堂筋まちづくりネットワーク http://www.midosuji.biz

御堂筋・南船場・長堀はブランド街

長堀川は昭和35年から埋め立てが始まり、四ツ橋から東は昭和39年に完了します。ついで四ツ橋以西が埋め立てられて昭和46年に完了、長堀通りが生まれます。さらに地下鉄鶴見線緑線が平成8年に心斎橋まで延伸されて、平成9年に地下街クリスマス長堀が開業しました。

その数年後、長堀・御堂筋沿道に大型ショップが相次いで出店、ブランドショップ街に発展しています。昭和57年に生まれた旧長堀川を挟む企業町会『長堀21世紀計画の会』は、沿道へのブランドショップの誘致とともに放置自転車対策など環境整備に取り組んでいます。



御堂筋のブランドショップ

長堀21世紀計画の会 http://nagahori21.or.jp

船場のプライド・堺筋

船場にあった3つの百貨店のうち、2つは戦前に撤退しましたが、三越は昭和22年に8階に三越劇場を開設、三越名人会や映画など、船場の暮らした文化の拠点となって親しまれました。子どもたちにとっては学校の文化行事の発表会であり、また遊びの博物館でした。ここでも沿道環境整備の活動が平成5年に始まっています。



堺筋マップ（平成5年）

堺筋アメニティ・ソサエティ http://sakaisuji.osakazine.net/

地方や郊外の小売店を支えた現金問屋街

井池は高級家具や指物屋が集まっていたが、戦後、繊維品の現金問屋として立ち上がり、衣服・身の回りを含め南本町・唐物町・南久宝寺町・心斎橋筋に広がりました。現金問屋制は問屋の開業を容易にし、同時に戦後復興で増えた小規模小売業者の仕入の需要にも応え、昭和25年頃には800店舗を超えました。朝鮮動乱後の繊維不況にも商品回転の速さと現金売りの強さで揺らぐことなく、全国から仕入れに来る小売店で、パフルの頃まで商人宿も賑わっていました。昭和30年頃からセルフの現金問屋も生まれ、昭和40年代には100店舗近くあったと言われています。現在は、小売店に転換する店が増えているとはいえ、南久宝寺町問屋街・せんば心斎橋筋商店街・船場井池ストリート、そして船場センタービルの商業者組織は健在です。問屋特有の品揃えの広がりや奥深さが、小売店だけでなく、マニアックな趣味人の心に響く魅力も備えています。



戦後の井池筋

船場センタービル

高速道路の建設と卸売り地域の過密化に対応して現金問屋街を東西に貫く築港深江線が計画されました。総立退件数が1500店に及ぶ大再開発事業が昭和30年頃から実施され、昭和45年に船場センタービルが完成しました。再入居の店舗に新たなテナントが加わり、総店舗900店の大商店街が出現しました。



船場センタービル

北船場は生きた建築博物館 近代建築の魅力

幸いにして戦災を免れた高麗橋・伏見町など北船場は、比較的多くの近代建築が残ってきました。小規模な建物が多く、所有者の愛着も強く、さらにこれを後押しする歴史建築物を愛好する市民の活動が高まってきたこともあり、近代建築の活用がまちの大きな魅力になっています。花嫁学校がおしゃれなショップの集まりに、銀行がケーキショップに、時計店や個人住宅、ホテルがSOHOやカフェに、自在のアイデアが生きているのが歴史建築物の魅力です。

▶近代建築マップは次頁



芝川ビル

戦後建築もぼちぼち還暦

戦後の建築もすでに50年を経過しようとしています。多くは戦前に指定された船場建築線による建物で、壁面が揃い、前に2mほどの空地をもっています。ビルの名称や表情にその歴史が刻まれ、近代建築に劣らず魅力ある建物がたくさんあります。戦後ビルの魅力を知るには「船場の戦後ビル」（船場地区HOPEゾーン協議会発行）がお勧めです。



輸出繊維会館

船場地区HOPEゾーン協議会 http://semba-hope.main.jp

船場近代建築ネットワーク http://sembaarchi.blogspot.jp

今しか見ることができないかも・

船場は今でも建物の建て替えが多くあり、空地ができたことにより、今しか見えない近代建築の姿を発見することができます。例えば右は淡路町2丁目の大正14年築の船場ビルディングの後ろ姿。風雪を耐えてきた歴史をたたえ、屋上には稲荷社も見えます。淡路町3丁目の清水猛商店も昔の町家の姿を忍ぶことができます。他にも色々な建物の姿が発見できるかも。



船場ビルディング

伝統と新しいまちの風物詩

道修町は神農祭



神農祭

道修町・少彦名神社の「神農祭」は、毎年11月22日・23日、大阪の1年の「仕舞祭」で賑わいます。以前は店頭は片付けられた金屏風に緋毛氈、生け花で飾られました。今はビル化し、昔ほどの風情はなくなりましたが、他の神社にはない通りの屋台が今でも道修町一杯に立ち並びます。そして御堂筋の銀杏も黄色に紅葉し、都心に残された季節感のある秋祭です。少彦名神社では、毎月1日堺筋アメニティ・ソサエティ主催の街角コンサートも行われています。

坐摩神社の新しい祭

坐摩神社境内では平成17年から、せんば鎮守の杜芸術祭プロジェクト主催の音楽祭を開催し名物になっています。秋風の心地よい夕べ、篝火の下でオペラ歌手によるコンサートが開かれます。社殿と木々に囲まれた音楽体験は新鮮と好評です。



新しい祭

お知らせ
せんば鎮守の杜芸術祭 10月5日(土) 12:30~20:00
会場 坐摩神社境内(久太郎町4渡辺3)
昼の部: 地域団体&若手オペラ歌手による競演
夜の部: ヴェルディ生誕200年「椿姫」
オペラとバレエがかり火コンサート
主催: せんば鎮守の杜芸術祭実行委員会
事務局: カフェアンドール内 06-6243-0584 http://p.tl/TY10

新しい南北筋・三休橋筋

船場で3つめの街路樹の南北筋が誕生しました。御堂筋は銀杏、堺筋はプラタナス、そして三休橋筋は栴檀木。この筋の北端土佐堀川に架かる橋が栴檀木橋。南端の長堀川に架かっていた橋が三休橋です。平成15年頃から大阪市と地域が協議を始め、豊かな緑とガス灯のあるゆったりとした道に生まれ変わりました。この筋の周りは近代建築も多く地域の自慢のプロムナードです。



三休橋筋

三休橋筋商業協同組合 http://3984st.com

4つめの船場の南北筋・東横堀川は橋が魅力

東横堀川が船場の始まりです。大阪城の外堀、大阪最古の堀川で、ここから西に埋め立てを進めて船場のまちが生まれました。この堀川は人やモノを運ぶ水路であると共に、お城と船場を繋ぐ10本の橋が江戸時代から残っており、水都大阪の歴史と魅力が詰まったところです。近隣の人々による、橋の清掃・美化や沿川公園の緑化、川遊びなど水辺を楽しみ賑わいをつくる活動が、平成18年から始まっています。本町橋は大正2年に架け替えられて平成25年で100年、地域で記念事業を計画中です。



本町橋

東横堀川水辺再生協議会 http://e-yokobori.jp

古典芸能 × 近代建築で船場を遊ぼう

9月17日(土)~11月24日(日)

- みんなでうたう能公演「船場でうたい隊」
10月5日 11時~12時 南御堂
- 船場近代建築物語（新作講談・まち歩き）
10月6日 受付9時半~
集合: 芝川ビル 4階 モダンテラス
- 船場物語（新作講談・まち歩き）
11月23日 受付9時半~
集合: 大阪証券取引所ビル 1階アトリウム
- 祝100年! 「橋洗い」&「落語家が案内する本町橋クルーズ」
11月26日 受付9時半~
集合: シティプラザ大阪南側エントランス広場
- 文楽を巡る「心中天婦鳥」
11月24日 10時~12時半 受付9時半~
集合: 相愛大学本町学舎
問合せ: 中央区役所市民協働課 (06-6267-9832)

お知らせ

神社は今なお船場のイベント会場

神輿や山車の担ぎ手不足や交通事情により昔ながらの祭は難しくなっていますが、伝統的行事の復活や新しいイベントなども行われています。昔も今も寺社境内はまちの祭会場です。

伝統の祭が復活・御霊神社の船渡御

江戸時代賑わった御霊神社の船渡御が約140年ぶりに、平成23年の夏祭から復活。御霊神社から御堂筋を武者行列、淀屋橋の船着場から乗船、御旅所に向かいます。境内の儀式殿では、落語会、地唄舞、ジャズなど古今の文化イベントを開催。



船渡御

南御堂・北御堂

境内での盆踊りは恒例行事。御堂会館、津村ホールでは講演会、コンサート、落語会など数多くの文化イベントが開催されています。

難波神社の神輿

昨年、船場まつりで神輿が復活、今年も練り歩きます。

Grande Mercato

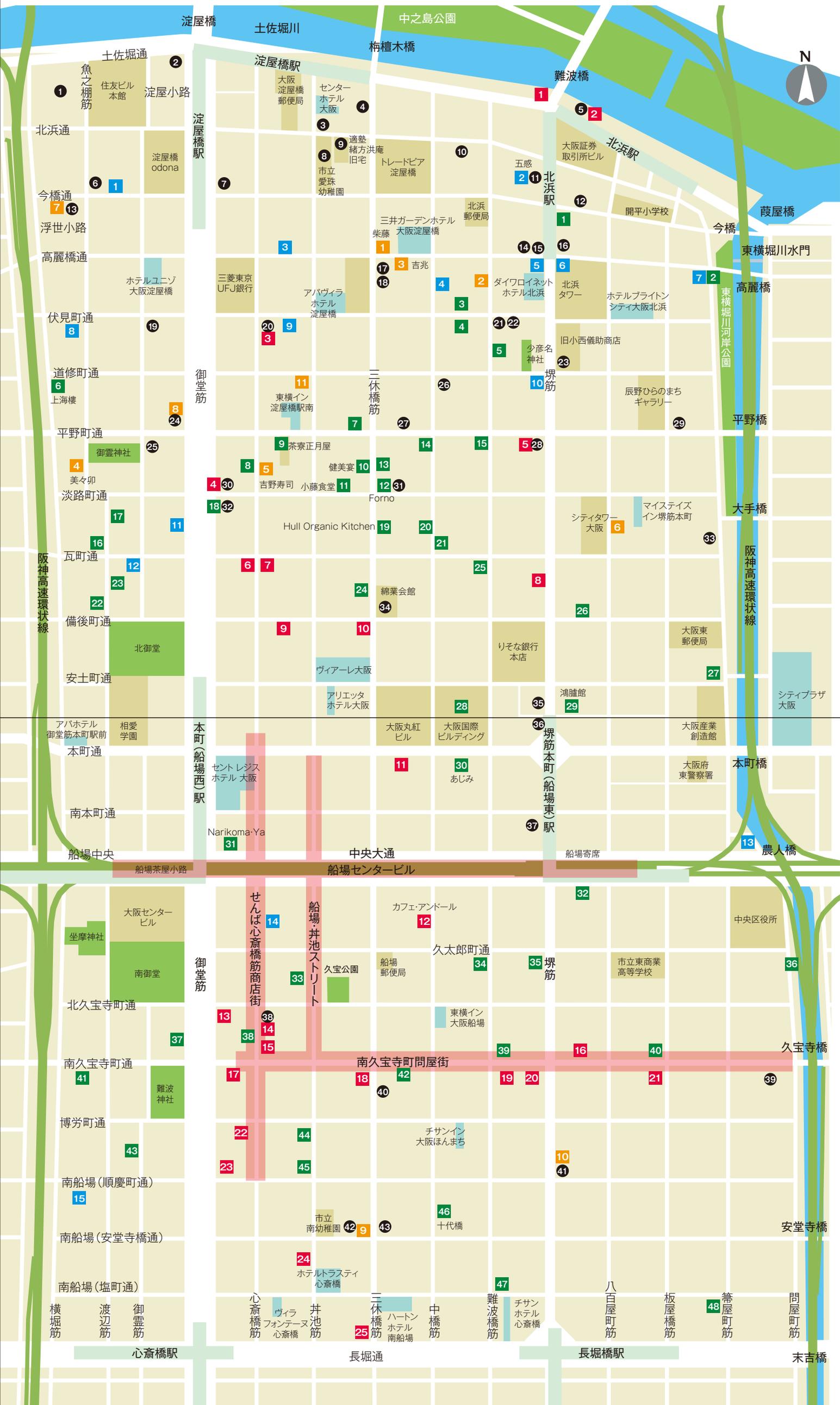
10月4日(土) 11:00~19:00
選りすぐりのハンドクラフト雑貨が並ぶ素敵な市場
会場 御霊神社 問合せ: 06-6231-5041

座敷舞の粋「倫の会」

10月6日(土) 14:30~
山村流上方舞の公演
会場 御霊神社 問合せ: 「倫の会」事務局 (090-9043-0067)

お知らせ

船場 MAP



- 1 ... 15**
P13 船場の名物
- 1 ... 11**
P14 船場の伝統
- 1 ... 48**
P15 船場の御飯
- 1 ... 25**
P16 船場の探検

- 公園・神社等
- ホテル
- 商店街

船場の近代建築

- 1 住友ビルディング
- 2 石原ビルディング
- 3 三共商事
- 4 吉田理容所
- 5 北浜レトロビルディング
- 6 大阪倶楽部
- 7 日本生命保険相互会社
(旧中央消防署今橋出張所)
- 8 大阪市立愛珠幼稚園
- 9 適塾
- 10 中村健法律事務所
- 11 新井ビル
- 12 岡三証券
- 13 アンティカ・オステリア・ダル・ボンビエーレ
(旧大阪教育生命保険ビル)
- 14 日本生命北浜ビル
- 15 高麗橋野村ビルディング
- 16 三井住友銀行大阪中央支店
- 17 オペラ・ド・メーヌ高麗橋
(旧大阪教育生命保険ビル)
- 18 日本基督教団浪花教会
- 19 銭高組分室(旧小西平兵衛邸)
- 20 芝川ビル
- 21 伏見ビル
- 22 青山ビル
- 23 コニシ株式会社(旧小西儀助商店)
- 24 大阪ガスビル
- 25 北野家住宅
- 26 武田薬品工業道修町ビル
- 27 小川香料
- 28 生駒ビルディング
- 29 榊三栄源エフエフアイ
- 30 清水猛商店
- 31 船場ビルディング
- 32 興和淡心ビル(旧板谷歯科医院)
- 33 岸本瓦町邸
- 34 綿業会館
- 35 第一住建堺筋本町駅前ビル
(旧東海銀行船場支店)
- 36 早稲田屋ビル
- 37 明治屋ビル
- 38 三木楽器開成館
- 39 クツワ文具店
- 40 田中ビル(旧中眼科)
- 41 堺筋倶楽部
(旧川崎貯蓄銀行大阪支店)
- 42 大阪農林会館
- 43 原田産業

船場の名物

船場発のええもんみやげもん

天下の台所として諸国の美味、珍品の集積地であった大阪・船場。そのような土地で生まれたいかにも船場らしい、船場名物をご案内します。400年の長い歴史のなかで根強い人気を誇る美味なもの、職人芸が光る逸品、船場発の新名物など、さまざまな船場名物をご堪能ください。

大阪のみやげもの

大阪、京都、江戸の三都のみやげものを挙げた「日本百景とみやげ品 三都めぐり」を見ると、共通するのが社寺、名所に由来する菓子、細工物。江戸の海苔、京都のしば漬けなどととも、大阪のみやげものとして特徴的な品物は寿司、塩昆布、天ぷらなどがあります。

寿司

大阪の箱寿司は、観劇や手みやげ用として人気で、にぎり寿司が一般的になった現代でも、「二寸六分の懐石料理」と言われるほどに洗練された老舗の味は健在です。「飯に六分の味」と言われるように寿司飯の味がポイント。時間がたっても風味が変わらない西日本の硬質米を用い、じっくり煮込んだ具を重ねた彩り豊かな切り口が美しく、小さいながらも味わい深いお寿司です。芝居の幕間や持ち帰って食べる頃合いに、最もよい味加減になるように計算されています。



天ぷら

天ぷらも江戸で生まれた衣揚げの天ぷらが全国を席巻していますが、大阪ではもともと魚のすり身を揚げたものが天ぷらで、贈答品にも使われてきました。江戸の天ぷらが伝わるのは明治以降で、大阪ではこれを「つけ揚げ」と呼んでいましたが、江戸の天ぷらが普及するなかで、現在どちらも「天ぷら」と呼んでいます。東京人にはややこしい。この魚のすり身を揚げたものは東京では「さつま揚げ」といい、明治維新以後東京で薩摩の人が好んで食べていたからと言われてます。しかし鹿児島ではさつま揚げとはいわずこれを「つけ揚げ」というから、ますますややこしい。



今も昔も大阪といえば昆布

昔から船場の代表的な名物のひとつが塩昆布です。昆布は江戸時代、北前船で松前（北海道）から日本海経由で大坂に運ばれてきました。塩昆布は元々、だしを取った後の昆布を活用した家庭の節約料理でした。

大阪と昆布

海草の使い方も三都では大違い。昆布は江戸の硬水には合わない（関西は軟水）あまり使われませんが、関西では出汁に欠かせないものです。京都では食材（特に野菜）の味を引き立てる淡味、大阪では食材のうまみを補う味付けとして「京の持ち味、浪花の喰い味」と言われてきました。京都は利尻昆布、大阪は真昆布。大阪の出汁はスープと言えます。さらに堺の刃物を利用して、おぼろ昆布、とろろ昆布などに加工し、昆布のうまみを活かした酢こんぶや昆布茶なども作られました。

神宗

創業天明元年（1781）。厳選素材を使った昆布製品は上品な味に定評がある。高麗橋3-4-10 06-6201-2700

小倉屋山本

塩昆布「えびすめ」は、大阪名物の証である「大阪産（もん）」の認定商品。南船場 4-10-26 06-6251-0026（本店）

舞昆のこうはら・心齋橋店

北海道産の真昆布を天然酵母で発酵熟成させたオリジナルの「舞昆」が有名。久太郎町3-4-22 06-6253-2345

みやげものも変化する

かつてのみやげものは、社寺や名所に由来するものなど各地の伝統的な品物で、多くの人に知られている品物でした。人も品物も自由に移動し、情報の発達した社会では、おみやげもすこし変化しています。古くからありながら、時代の波にちょっと乗り損ね、しかしよく見ると楽しい、面白い、小さな輝きがあるみやげものを見つけました。

水引 澁谷利兵衛商店

創業享保9年（1724）。海産物の商いから始まり、熨斗鮫（のしあわび）や鯉節など縁起物を扱う。現在は金封（祝儀袋、熨斗袋）や水引細工、削り節のほか、正月飾りやくす玉の受注生産も行う。高麗橋1-3-18 06-6231-7131

和紙小物 西野商会

越前和紙を大正年間から扱う。和紙に親しんでもらおうと手づくり紙風船、紙風筆（かみふうせん、和紙端切れ）、酒瓶用和紙ラベルを店内で展示・販売。

南本町1-2-5 06-6271-8495

八目鰻 道修町漢方薬局

レトロな缶入りの「八目鰻のキモの油」をはじめ漢方薬全般を扱う。「八ツ目鰻」の大きな看板は、業種間屋街のランドマークになっている。

道修町2-2-12 06-6231-0147

でも、おみやげはやっぱりお菓子

老舗の味も、現代の名店も、どちらも船場の自慢です。

鶴屋八幡 和菓子

『東海道中膝栗毛』にも登場する元禄15年（1702）創業の老舗が前身。歴史に裏打ちされた菓子は上品で美味。今橋4-4-9 06-6203-7281

菊寿堂義信 和菓子

約180年前、天保年間の創業で、昔ながらの手法で手回ひまかけてつくられる菓子は、名物の大福など多岐にわたる。高麗橋2-3-1 06-6231-3814

菊屋 和菓子

天正13年（1585）、豊臣秀長の御用菓子司として創業。茶道と共に発展してきた和菓子の伝統を受け継いでいる。高麗橋2-2-12 06-6231-2001

高岡福信 和菓子

寛永元年（1624）創業、大阪最古の和菓子の老舗。国産本わらび粉を使用するわらび餅が人気。道修町4-5-23 06-6231-4753

ERMERS GREEN CAFÉ カフェ

店内はイギリスの小さな町にあるカフェをイメージ。焼き菓子と焙煎豆のセットをおみやげに。高麗橋1-7-3 06-6223-5560

ビーンズ・ショップ ナッツダム

豆専門店・喫茶 Beans & Nutsの菓子が豊富に揃う。淡路町4-2-16 06-6221-1717

カーブドテール 淡路町店 ワイン

オーナーがこだわり抜いたワインに合うセレクト・チョコが自慢。淡路町4-3-8 06-6228-0909

五感 洋菓子・喫茶

大正11年業の洋館（旧報徳銀行大阪支店）をリノベーションしたお洒落なお店。今橋2-1-1 06-4706-5160

TIKAL by Cacao en Masse

チョコレート専門店 店内は古代中南米をイメージ。カカオをつぶす道具なども展示。伏見町3-3-3 06-6232-0144

脈々と受け継がれてきたもの

船場の伝統

江戸時代に天下の台所として栄えた船場は、明治以降工業都市の中核として日本経済をけん引してきました。長い歴史のなかで、経済的文化的な成熟の時を経験したいわば大人のまち。その蓄積は食や建物、風習など、まちの随所に息づいています。

船場の料理屋・料理人を育てた旦那衆

かつて船場の商家では、家の年中行事では仕出し屋が活躍し、商談では料亭が利用されていました。一方、食通の旦那衆の楽しみの場となった料理店が割烹です。店では色色と呼ばれる食材が書かれた板がかけられ、客はその食材を選び、好みの料理法で注文、料理人は腕を競いあい、大阪の料理にいっそう磨きがかかりました。

吉野寿司 箱寿司

船場の伝統と文化を今に伝える 天保12年（1841）創業。170余年にわたり、箱寿司、棒寿司、蒸し寿司など大阪寿司の伝統を守り続けている。淡路町3-4-14 06-6231-7181

本家柴藤 うなぎ

八代将軍・吉宗が愛した鰻の老舗 享保年間に創業者が、ご飯の間にうなぎを挟んで蒸す「間蒸し」を考案。タレも創業以来の製法そのまま。高麗橋2-5-2 06-6231-4810

丸萬本家 魚すき

高級料亭でも大衆料理店でもない店 元治元年（1864）創業。季節の鮮魚と野菜、焼豆腐、生麩などをとり合わせて、秘伝のだてで炊きながら味わう。瓦町1-5-15 06-6201-4950

与太呂 鯛めし・天ぷら

関西風天ぷら発祥の店 大正10年創業。土鍋でじっくり炊いた鯛めしと、日々仕入れた厳選食材を綿実油で揚げた秘伝の天ぷら。高麗橋2-3-14 06-6231-5561

吉兆 日本料理

一期一会のおもてなし 昭和5年創業。料理、器、もてなしすべてにこだわり、日本を代表する料亭。高麗橋2-6-7 06-6231-1937

美々卯 種類日本料理

自然素材と職人技へのこだわり 大正14年創業。名物は四季折々の厳選された素材を生かしたうどんすき。平野町4-6-18 06-6231-5770

船場の歴史にひたって味わう

船場には、明治から昭和初期にかけて建てられた優れた近代建築が、今も数多く残っています。大阪の歴史を伝える近代建築の格調高い雰囲気の中で過ごすひとは格別で、そこで味わう料理も忘れがたい味になることでしょう。

ガスビル食堂 西洋料理

昭和8年（1933）竣工と同時に誕生。本物の西洋料理を基礎に考案した独自の歐風料理の伝統は今も受け継がれている。平野町4-1-2 06-6231-0901

ダルボンピエーレ イタリア料理

大正14年竣工の元今橋消防署をリノバートした店舗がお洒落。今橋4-5-19 06-4706-1190

堺筋倶楽部 イタリア・フランス料理

大正時代の銀行の建物を調度まで再利用した格調高い空間。

南船場1-15-12 06-6265-8000

コロッセオ イタリア料理

昭和5年竣工の大阪農林会館にある創業30年の老舗イタリアン。「本物を知ってほしい」とオーナー。イタリア政府公認。南船場3-2-6 06-6252-2024

船場のしきたり

山崎豊子の「船場狂い」に描かれたように、船場は商人にとって憧れの場所でした。そしてそこには、暮らす人々に引き継がれてきたしきたりがありました。これが船場ことばであり、更衣であり、祭りなどの年中行事でした。

船場ことば

大阪弁は船場ことばにあると言われてます。船場ことばは、音楽を聞くようになめらかな耳あたりのいい言葉、まったりとした艶のある言葉などと言われてきました。しかし現在はそれを話すことのできる人はほんの僅かになっています。香村菊雄氏は「船場ものがたり」の中で、嘉永5年生れの祖母の語る船場ことばを「さいでござすとも・・・わたしの父者（ててじゃ）は、ほんにきついお方はんでござりやしたわいなあ。あにさんが、夜（よ）さりおそうに戻って参じやすうなことがござりやしたら、表のころろん落としておしまいやして、いっこ中い入れておくれやござへん。母者人（はやひと）が、もう堪忍してやってたもれとお取りなしやしても、極道者（ごくどうもん）にやためにならんわいと、あにさん、なんぼ門口に立たされしゃんしたことござりやしたやろうか・・・」と記し、「なめらかに、そしてツブを立てるところは立て、父の厳しい教育法を是認しながらも、兄を思う妹としての心やり、母親のオロオロする姿などがよく感じられた。これはいかにも浄瑠璃的である」と船場ことばについて記しています。

船場ことばの資料室 ― 彩食館「門」 喫茶・居酒屋

『大阪の ええとこほかして あとの祭り』（なにわことばのカルタより） 美しい「船場ことば」を後世に語り継ぐため、船場育ちの清水路子さん（先代女将）が語り部となり「伝統を守るなにわの会」を続けるとともに、大阪関連の本や、30余年にわたり生の船場ことばや風俗習慣を記録してきた手作りの絵巻物やカルタなど珍しい資料を展示。「なにわの会」は、奇数月の第3土曜14時～16時開催。 会員も募集中です。道修町3-3-12 06-6231-8509



更衣（ころもがえ）

「船場では言葉使いと同様大事にされていたしきたりに更衣がある。大阪の商家では季節の変わり目ごとに更衣が実行されてきた。4月になると男女ともに一斉に裕（あわせ）着になり、裕長襦袢、裕羽織を着用する。6月からは単衣（ひとえ）、単衣襦袢と単衣羽織を用い、葛蒲節句から帷子（かたびら）、麻長襦袢、組（く）羽織になり、浴衣は6月15日から、7月から薄物、組長襦袢、紗（しゃ）の羽織、9月から単衣、10月から裕、11月から綿入れとなる。この更衣のしきたりを間違えると物知らずと笑われるのが常である。」（山崎豊子・大阪づくし私の産声）

裕 裏布を着けた着物
単衣 裏が付いていない着物
帷子 生糸・麻糸などで織った夏の単衣
組・紗 目が粗く軽くて薄い生糸の織物

船場の御飯

食事処、飲み処のお気に入り

値段と味のバランスに敏感な船場人は、常にお気に入りのお店探しに余念がありません。ランチが「安くて旨い」と思わず唸る店から、大事な人とゆっくり過ごしたいお店、隠れ家的なお店などあまたある中、船場人が自信をもって選び抜いたおススメのお店は多種多様なものとなりました。

魚蔵 魚料理 4 きびきびした板前さんの仕事ぶりも味のうち 伏見町2-3-7 06-6233-0345	あじみ 創作料理 30 いつも笑顔で迎えてくれる、行列のできる創作料理のお店 本町2-3-9 06-6264-0607	健美宴 日本料理 10 コラーゲンの「健美鍋」と手作り料理。女性に人気 淡路町3-1-1 06-6282-7547
いっちょう 寿司 26 ランチにも、リーズナブルな寿司店 備後町1-6-5 06-6221-3148	月亭 懐石料理・しゃぶしゃぶ 28 ビルの31階で景色抜群。女性にお得なメニュー 安土町2-3-13 06-4964-2255	茶寮 正月屋 点心と懐石料理 9 ちょっと贅沢な昼食。吉兆の味が楽しめる直営店 平野町3-3-9 06-6231-2829
いつ香 四季膳・和食 41 少し優雅に、個室で四季の味を 南久宝寺町4-6-9 06-6258-1200	あたらし 河内鴨料理 17 天神祭の時期には大阪伝統の河内鴨がおススメ 瓦町4-4-14 06-6229-7088	きたはち 魚料理 42 旬の魚が自慢の居酒屋。昼間は勤め人で大繁盛 南久宝寺町2-6-10 06-6253-1424
れんげ 寿司と日本酒・焼酎・ワイン 3 古い町家を改修。こだわりと雰囲気のあるお店 伏見町2-4-9 06-6223-3008	Narikoma・Ya 和ダイニング 31 毎日通っても飽きない味とスタッフの気持ちのよい対応 南本町3-6-14 06-6282-0885	十代橋 家庭料理 46 「お帰り」で暖かく迎える親子2代の家族経営 南船場2-7-20 06-6262-7255
eZ (エズ) ダイニング・カフェ 1 有名空間デザイナーによる真っ赤な外観に度肝を抜かれる 今橋1-7-17 06-6233-7788	江戸菊 すき焼き 21 老舗のすき焼き料理店 瓦町2-4-12 06-6231-5858	どら鴨 河内鴨料理 25 国産ワインも豊富。昼は、つけ麺が美味。夜のコースもお得感あり 瓦町2-3-14 06-6231-5855
万両 肉料理 36 夜中を過ぎても賑わう東横堀沿いの繁盛店 北久宝寺町1-1-7 06-6267-0221	すしと旬の割烹料理 なる山 すし・海鮮料理 22 淡路島出身の店主選りすぐりの食材 備後町4-3-4 06-6222-3999	とりと 宮崎地鶏料理 32 唐揚げやモモ炭火焼き定食などランチも美味しい 久太郎町1-9-29 06-6266-1066
YUZAN 肉料理とワイン 48 少し高級なワインとお肉のお店 南船場1-10-2 06-6265-1199	SANGEN 肉料理とアラカルト 47 玄関に篝火。何でも美味しいと女性に人気 南船場2-3-17 06-6261-3338	スタイリッシュグリラル Tyu 鉄板焼 44 小さな店で一流ホテル出身のシェフが腕をふるう 博労町3-3-13 06-6251-0557
レコッコレ オーガニック・キッチン 33 前に豆庭をもつ古いビルを改修したカフェレストラン 北久宝寺町3-4-1 06-6245-5556	ユニック フランス料理 5 シンプルで温かい雰囲気好感度大 伏見町2-2-3 06-6202-1129	Hull Organic Kitchen オーガニック・キッチン 19 オーナー自ら育てた無農薬野菜を使った料理を楽しむ 淡路町2-6-1 06-6202-0339
味万 和食ご飯処 38 カレーうどんと天むすの組み合わせが新鮮 北久宝寺町3-6-12 06-6252-0612	上海樓 横堀店 中華料理 6 リーズナブルな中華料理 道修町4-5-15 06-6201-5655	天地あまっち 中華料理 35 スパイスがかなり本格的 久太郎町2-2-8 06-6125-2307
SPIRAL イタリア料理 8 契約農家からの食材で中華出身のシェフによるイタリアン 淡路町3-5-1 06-6223-2246	Marble*tre イタリア料理 14 季節の素材を活かし、きめ細やかなもてなし 平野町2-6-5 06-6221-3223	ロルマ イタリア料理 40 オーナーシェフが契約農家の新鮮野菜でつくるイタリアン 南久宝寺町1-8-3 06-6268-0733
ラシーム フランス料理 24 毎日頑張っている自分へのご褒美の特別なお店 瓦町3-2-15 06-6222-2010	讃岐屋 自家製パスタ 39 毎日製麺する、もちもちパスタが人気。誕生日には特典あり 南久宝寺町2-1-11 06-6260-5008	タージ インド料理 20 ナンが巨大で美味。店員さんに漢字の読み方を聞かれることも 瓦町2-5-2 06-6228-0078
カルト ブランシュ フレンチ 37 御堂筋沿いのビルの地下にある隠れ家風の店 南久宝寺町4-1-1 06-6252-0880	一椀水 中華料理 27 台湾や中国各地の料理法を駆使 安土町1-4-5 06-6263-5190	江戸幸 居酒屋 7 ビルの奥。落語好きの大將の賑やかなお店 平野町3-1-7 06-6222-0857
あけぼの亭 地酒と和食 34 季節の大皿料理が美味。 久太郎町2-3-8 06-6264-1262	ボダコア フレンチ・カリフォルニア料理 13 野菜料理が美味しい 淡路町2-6-1 06-6222-0028	うさみ亭 マツバヤ うどん 45 元祖きつねうどんの老舗。おじやうどんも絶品 南船場3-8-1 06-6251-3339
麺点心酒家 ペギーズウ 中華 2 地下のアットホームな空間でライブが行われる 高麗橋1-2-3 06-6231-5950	カフェ・ビグデン カフェ・フレンチ 43 フランス人が作るそば粉クレープ。2階もある可愛い一軒家づくり 南船場4-8-1 06-6226-8057	トロワ・プレジール 南欧・ワイン 23 安くて、美味しいイタリアン&フレンチのお店 瓦町4-3-2 06-6233-9345
ラ・ヴィネリア・ブラヴーラ イタリア料理 18 自家製ラザーニャが美味。イタリア情報の発信地にもなっている 淡路町3-6-3 06-6484-6789	ステーキ割烹 あだち 地酒と和食 15 お肉はもちろん、食べ放題の漬物も美味しい 平野町2-3-12 06-6202-7712	大衆食堂 瓦町بران 洋食・欧風料理 16 開店前から行列のできる大人気の居酒屋 瓦町4-5-6 06-6232-1181
鴻臚館 サロン・ワインバー 29 音楽いっぱいのワイン・サロン。ライブ、パーティーにも利用できる 安土町1-7-20 06-6264-7088	Forno 39 フォルノサンキュー イタリア料理 12 石窯料理とピッツア・エスプレッソを気軽に楽しんで 淡路町2-5-11 06-6209-3984	キュージーヌフランセーズ小藤食堂 ビストロ 11 三重、岩手、鳥取など各地から取り寄せた新鮮食材でつくるフレンチ 淡路町3-1-8 06-4708-3038

船場の探検

知れば知るほど深いまち

船場は多種多様なお店が、自己主張しながら混在する面白いまち。あちこち眺めながらそぞろ歩きするうち、偶然、心に響く珍しい品々に出会うこともしばしば。丹念に探していけば、衣類や食器はもちろん、オフィスや家庭の調度や小物など、お気に入りの品々を一通り、揃えることができます。こだわり派、手づくり派にはたまらない深みのある場所なのです。

まちであそぶ、学ぶ、創る

船場にはちょっと覗いてみると、ついつい引き込まれてしまうようなお店があります。ものを買うだけではなく、学びと遊びの深〜い魅力がそこにあります。ちょっとした端切れなども創造力を刺激してくれます。

十ファブ プラスファブ 手芸 17 手芸の初心者向けに手作りの楽しさを発信。各種素材の展示方法が可愛らしく見ているだけでも楽しい 南久宝寺町3-6-8 06-6252-5808	日本紐釦 ちゅうこう 貿易 手芸 16 あらゆる服飾・手芸材料を網羅し、手芸愛好家から専門家まで幅広いニーズに応える。キットの種類も豊富 南久宝寺町1-9-7 06-6271-7087	METAL BOX ホビーショップ 21 質量共にマニアを魅了する品揃え。フィギュア制作コーナーあり。TVで活躍する俳優のサイン会の実施も 南久宝寺町1-7-12 06-6282-7200
三木楽器 楽器 14 質の高い音楽教室から演奏会の実施まで、大阪を代表する音楽の殿堂。もと書籍店とあって音楽書も揃う 北久宝寺町3-3-4 06-6252-1820	印傳屋 装身具 22 日本人の美意識の高さ、繊細さ、技術力の高さを再認識させられる小物・財布・名刺入れなどに魅せられる 博労町3-6-7 06-6243-5800	ブティックチェントロ 食品・雑貨 19 ワイン、靴、服などイタリア製品が安く買えるだけでなく、食から語学学校までイタリア関連の情報発信地 南久宝寺町2-2-7 06-6264-5152(事務所)
芝川ビル モダンテラス 教室など 3 昭和2年竣工の近代建築でイベント等が開催される。現在は早朝の体操教室が開催中 伏見町3-3-3 06-6681-6616	そば専科 植田塾 手打ちそば教室 18 3ヵ月6回で基礎的な技術がマスターできる。昼は週4回手打ちそばを格安で提供 南久宝寺町3-2-11 06-6245-7720	シモジマ 日用品 15 店舗用品、事務用品、包装材料など、家庭や事務所で役立つ雑貨が一通り揃う。安さと豊富な商品量が魅力 北久宝寺町3-3-8 06-6252-4361

地域との交流拠点

船場には5つの県事務所(静岡・福井・岡山・徳島・高知)があり、地方銀行(第2地銀を含む)の大阪支店は、大阪市内にある54支店中37支店が船場にあり。船場では今も地方都市との交流が続いているのです。

静岡県大阪事務所 9 西日本に向けて観光情報・物産情報を発信 備後町3-3-9 静岡県産業ビル1F 06-6263-6120	福井県大阪事務所 8 観光、物産、企業誘致などの情報発信 瓦町2-2-14 06-6231-1023	岡山県大阪事務所 10 地域の観光や物産情報を紹介する 備後町3-2-13岡山県産業ビル4F 06-6261-3206
とくしま県の店 23 徳島県の物産販売のアンテナショップ 南船場3-9-10 06-6253-0141	高知大阪事務所 11 毎週木曜日(11時〜15時)に土佐木曜市が開かれる 本町2-6-8 06-6244-4351	北海道がごしま館 ふるさとセレクトショップ 4 北海道と鹿児島県の合同特産品販売ショップ。土日祝も営業 淡路町3-5-13 06-6233-2310
きた東北発見プラザ ジェンゴ心齋橋 25 青森・岩手・秋田の北東北3県合同のアンテナショップ 南船場3-4-26 06-6241-7144(物販)06-6341-7900(観光)		

散策の合間にちょっと一息

歩き疲れたら一休み。ここにしかないスイーツで元気回復。お気に入りはおみやげにも。

① テイクアウト

カフェアンドール カフェ・紅茶専門店 12 紅茶、コーヒー、ハーブティーなど約70種。ケーキやタルトも人気。ランチやディナー、ワインも楽しめる ① スコーン、特製クッキー、季節のケーキやタルトなど 久太郎町2-5-6 06-6243-0584	平岡珈琲店 コーヒー・手づくりドーナツ 6 大正10年創業。独自の抽出法による深煎りのコーヒーと、甘みを控えサックリしたドーナツの相性は最高 ① ドーナツ 瓦町3-6-11 06-6231-6020	北浜レトロ 純英国式ティーサロン 2 一番人気はトラディショナル・アフタヌーンティー。建物は国の登録有形文化財指定 ① 自家製ケーキ、紅茶、英国雑貨 北浜1-1-26 06-6223-5858
ミルポア エスプレッソバー 24 豆の品質に徹底的にこだわる。ホットドッグ用のパンは国産小麦と天然酵母で3日間かけて作られる ① コーヒー、ビスコッティ、ホットドッグ 南船場3-6-1 06-6241-1339	イルパール イタリアンカフェ 5 アールデコの軽快なデザインが軽い打ち合わせにぴったり 平野町2-2-12 06-6232-1200	MOTO COFFEE カフェ・パン 1 土佐堀川越しに見る中之島の風景は抜群。ゆっくり過ごせる ① パン・焼菓子及びドリンク 北浜2-1-1 06-4706-3788

自転車を上手に使う

近年は自転車が目立っています。「コミュニティサイクル」は、低料金で自転車をシェアするシステムで、まち中移動の強い味方です。さらに、一定時間利用無料の駐輪場の設置も進むなど、自転車を取り巻く環境は日々進化しています。

COIDECO (コイデコ) コミュニティサイクル 10月初旬サービス開始! 【登録方法】ケータイ、スマホ、パソコンから。一日利用は登録画面をポートで提示 【利用時間】10時〜18時(基本) 最初の60分は無料 【ポート】大阪市内の20ポートに各5台程度の自転車を設置予定(順次拡大) 問合せ先 http://coideco.jp/contact/	HUBchari (ハブチャリ) コミュニティサイクル 【ポート】大阪ガスビル(西駐車場)、第七松屋(本町橋2-23) 【料金】1時間100円、1日利用700円+保証金1000円(自転車返却後返金) 問合せ先:http://www.hubchari.com/howto/1day/
リブ・ジャイアント大阪 13 日本初の女性向けスポーツバイク専門店 北久宝寺町3-6-1 06-6244-0801	ワイスロード大阪 20 ブランド高級自転車からマニアックな自転車まで、数多く揃うスポーツバイク専門店 南久宝寺町2-2-9 06-4705-5482
Velo 屋 7 自転車の販売・修理・レンタル・月極リース・駐輪サービスまで行う 瓦町3-3-5 06-6147-5016	

日本料理 吉北





春夏秋冬折々の旬の味わいを、より深く、より美しく、研ぎ澄まされた感性と器に盛って、心からおくつろぎ頂けるようおもてなしいたします。

営業時間 昼11時半~14時 夜17時~21時 日曜・祝休
電話 06-6231-1937
住所 中央区高麗橋2-6-7

吟味を重ねた素材に吉兆伝授の技が見事に映える正月屋「季節点心」。

営業時間 11時半~19時半LO (日曜・祝16時半LO)
14時半~17時は喫茶のみ
月曜休 (祝日の場合は翌火曜、湯木美術館開館中は日曜・月休)
電話 06-6231-2829 住所 中央区平野町3-3-9

茶寮 正月屋

創業天保十二年 吉野 煮

船場 淡路町




創業は天保十二年(1841)旅籠屋をしていた吉野嘉助が、すし屋を始めたのが始まりで、以来百七十余年にわたり大阪寿司の伝統を守り続けております。

営業時間 9時~21時 土・日曜・祝休
電話 06-6231-7181
住所 中央区淡路町3-4-14

美々卵



本町界隈に3店舗を構え、長年にわたり多くのお客様に親しまれています。登録商標「うどんすき」をはじめ、うどんそば食べ放題の「にぎわいそば」などがおすすです。

www.mimiu.co.jp

営業時間 11時半~21時半 (20時半LO)
本店 日祝休 住所 中央区平野町4-6-18 電話 06-6231-5770
本店別館 土日祝休 住所 中央区道修町4-4-6 電話 06-6231-5770
本町店 不定休 住所 中央区本町4-6-4 電話 06-6261-7241

伊藤園

自然が好きです。



五感の菓子は「火」「水」「土」「風」「愛」をテーマとし「人」「鮮度」「素材」「旬」「安心」にこだわった心の菓子を目指しております。

PATISSERIE DE SAMOURAI GOKAN

五感・北浜本館

大阪市中央区今橋 2-1-1 新井ビル
Tel. 06-4706-5160
http://www.patisserie-gokan.co.jp/

株式会社伊藤園 難波支店
大阪市浪速区桜川3-4-9 06-6567-6055

創業享保年間 本家 柴藤



本家柴藤は、上方饅頭の老舗です。

営業時間 昼11時~14時半 (LO13時45分) 夜17時~21時 (LO20時15分)
土:17時~20時半 (LO20時)
日曜・7月以外の祝日・10月~5月の土曜休
電話 06-6231-4810 住所 中央区高麗橋2-5-2

創業1888年 IK 池田商店紳士服部 本町店



創業125周年を迎える老舗の技術を生かし、最新のスタイリングのスーツをお求めやすい価格でご提供しております。

記念価格 国産生地使用仕上り 5万円~
舶来生地使用仕上り 7万円~

営業時間 月~金 10時~19時 土 10時~16時
日祝日・第2、第3土曜休 電話 06-6252-7758
住所 中央区久太郎町4-1-3
大阪センタービルB1 (旧伊藤忠ビルB1)

健美夏



大山鶏の炭火串焼きと水炊き。
接待・ご宴会にはコースをどうぞ。2階個室(~12名様)

営業時間 昼) 11時半~14時LO
夜) 17時~23時LO
祝日休
電話 06-6282-7547
住所 中央区淡路町3-1-1

「船場ガイドブックを見た!」
で逸品料理プレゼント!
(~12/末)

カフェダイニング・ガゼボ



靱公園前線の中のみずま屋(=ガゼボ)では、ママ・ガゼボおすすめの「きつと勝つさんど」と共にライブやイベントで貴女流のパーティーを。

営業時間 11時半~22時
夜18時~要予約
不定休
電話 06-6459-2746
住所 西区靱本町1-6-17

Hull Organic Kitchen

ハル オーガニック キッチン

有機野菜を中心に、安全な魚介とお肉のランチを10種類ほどのピュッフェでお楽しみ頂けます。

営業時間 11時~15時LO
土曜・日曜・祝日休
電話 06-6202-0339
住所 中央区淡路町2-6-1
アインストーンビル2F



Forno39

フォルノサンキュー

石釜料理とピッツァ・エスプレッソを気軽に楽しんで頂けるお店です。

営業時間 昼 火~土 11時半~14時LO
日曜 12時~15時LO
夜 火~土 18時~22時15分LO
日曜 予約のみ
月曜・祝日休
電話 06-6209-3984
住所 中央区淡路町2-5-11
ASAビル1F



鴻臚館

こうろかん

大都会のオアシス、おしゃれな隠れ家、音楽いっぱいワイン・サロン。ライブ、パーティー、各種会合等にもご利用頂けます。絵画、写真、陶芸等の展示もできます。「コウロカン」で検索

営業時間 18時~23時
土日祝・年末年始・8月中旬休
電話 06-6264-7088
住所 中央区安土町1-7-20
新トヤマビル1F



三木楽器株式会社 開成館

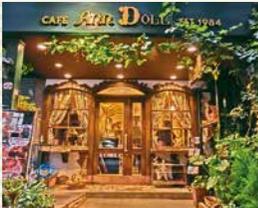
KAISEIKAN

1825年の創業以来、日本の音楽産業・音楽文化の発展を支えて参りました。アコースティックピアノ楽譜を取り揃え、ミュージック・エッセイ・カンパニーの道を歩み続けます。

営業時間 10時~19時
毎週水曜日休
電話 06-6252-1820
住所 北久宝寺町3-3-4



カフェ・アンドール



創業1984年。英国のアンティーク家具や雑貨に囲まれてティータイムが楽しめるサロンの雰囲気。手作りのケーキと美味しい紅茶のお店。日本紅茶協会認定。ランチ:手づくりハンバーグスベシアルオムライスがお得。

営業時間 8時半~21時 土日祝 10時半~18時
電話 06-6243-0584
住所 中央区久太郎町2-5-6

10/1(火)~14(月・祝日) お1人1000円以上
飲食の方に手作りスコーン1ヶサービス

あじみ

堺筋本町店

まごころこめた料理と接客でおもてなしいたします。元気が出て楽しめる「あじみ」へ是非ご来店ください!

営業時間 11時半~14時 (13時半LO)
17時半~23時 (22時LO)
日曜休
電話 06-6264-0607
住所 中央区本町2-3-9



キュージーヌフランセーズ小藤食堂

三重・岩手・鳥取・石川・高知などの生産者や漁師の皆様へ、新鮮でおいしい食材を直送して頂き、お腹いっぱい召し上がってもらえるフレンチビストロ(食堂)です。

営業時間 昼11時半~14時LO
夜17時半~22時LO
日曜休
電話 06-4708-3038
住所 中央区淡路町3-1-8



十代橘

じゅうだいちばな

旬の食材にこだわった家庭料理を、昼も夜もお楽しみください。

営業時間 昼 11時半~14時
夜 18時~23時
水曜夜・土曜・日曜・祝日休
電話 06-6262-7255
住所 中央区南船場2-7-20



中国料理 互燻樓

シャンハイロウ



1960年、大阪淀屋橋近く道修町に創業し、近隣のビジネス街の皆様にご愛顧いただいております。主人のモットーは「無声呼人」。皆様に愛される店づくりを日々目指しています。

営業時間 月~金 11時~21時 土 11時~20時 日祝定休
電話 06-6201-5655 住所 道修町4-5-15

(株)シモジマ心齋橋店

包装資材や店舗用品、事務用品を卸価格で販売しております。ラッピングやPOPなど、各種講習会も随時開催中。

営業時間 平日 9時半~19時半
日祝 10時~18時20分
不定休
電話 06-6252-4361 FAX 06-6252-4795
住所 中央区北久宝寺町3-3-8

この広告を切り抜いてご来店いただいたお客様に、初回のみお買上げ金額から5%OFF!! (一部対象外商品有り、他サービスの併用不可) 期間 2013/10/31まで有効



特典▶船場まつり2013期間中に、この冊子をお持ち頂いた方へのお店からのサービスです。



1F フレンチビストロ「ルドール」



12F イタリア料理「ラ ベデュータ」



12F セントレジス バー

フレンチビストロ「ルドール」では、個性的な料理と活気溢れた雰囲気と共にフランスの伝統的なビストロクイズに現代な彩りを添えた料理をご堪能いただけます。

ランチ 11:30～(週末・祝 11:00～)【平日エクスプレスランチ】お一人様1,500円～(税込・サービス別)
【ランチブッフェ】お一人様2,900円～(税込・サービス別)

イタリア料理「ラ ベデュータ」では、イタリアの伝統的な調理法に産地と質にこだわり厳選した地元食材で奏でる品々をご用意しております。



THE ST. REGIS OSAKA セントレジス ホテル 大阪

〒541-0053 大阪市中央区本町三丁目6番12号 お問い合わせ先: TEL 06-6258-3333 (代表)
www.stregisosaka.co.jp 地下鉄御堂筋線「本町駅」7番出口すぐ

ガスビルは、船場・御堂筋とともに



南館竣工当時(1933年、昭和8年)



ガスビルのショーウィンドウ



料理講習の様子



北館が竣工のころ(1966年、昭和41年)



ガスビル食堂から大阪城を望む



御堂筋まちづくりネットワークの活動



歴史を刻み、本年竣工80周年を迎えました。 大阪ガス

船場まつり 2013

10月4日(金)～10月6日(日)

主催:船場まつり推進協議会 船場げんきの会
後援:大阪府・大阪市・大阪商工会議所
(公財)関西・大阪21世紀協会
<http://www.sebamatsuri.com>

商店街・賑わいイベント

大感謝市・誓文払い 10月4日～6日
船場センタービル特設会場で各種イベント開催
三木楽器開成館ミニコンサート 10月5日
11時～12時 14時～15時
船場あっちこっちラリー 10月5・6日
10時～16時

船場文化イベント

せんば鎮守の社芸術祭 10月5日 会場 坐摩神社
12時半～ 音楽団体・若手オペラ歌手の演奏
18時～ ヴェルティ生誕200年記念篝火コンサート
(問合 カフェ・アンドール 06-6243-0584)
講演会「船場と淀屋」10月5日 会場 綿糸会館
13時半～16時
(問合 淀屋研究会 090-3263-4108)

船場減災展

第3回船場減災展 10月4日～6日 10時～17時
減災ワークショップ 10月5日 11時～14時
会場 船場センタービル2号館1階
減災ファッションショー 10月5日 11時～
会場 船場センタービル6号館2階・ラジオ大阪サテライト

船場ライブ

昭和歌謡を歌い倒す会 10月4日 19時半～22時
会場 鴻館(問合 06-6264-7088)
寺井尚之・宮本在浩ライブ 10月1・2・4日 19時～
寺井尚之ジャズ講座 10月5日 19時～
会場 Jazz Club Over Seas(問合 06-6262-3940)
能と鼓への誘い 10月20日 14時～
会場 新トヤマビル10階座敷(問合 鴻館 06-6264-7088)
洋楽ロックセッション 10月8日 19時～
フォークサロン青春譜 10月13日 19時～
会場 ライフハウス・テンション(問合 06-6208-0310)

船場博覧会 2013 11月19日(火)～24日(日)

船場の魅力を発信するためそれぞれに活動している人々が力を結集し、今年も船場の街を愉しむイベント『船場博覧会2013』を6日間にわたって開催します。
辰野ひらのまちギャラリーをメイン会場に北船場一帯で、パネル展示やセミナー、コンサート、お茶会、寄席、お餅つき、名建築を巡るまち歩きなど、まちの魅力に触れる多彩なプログラムを催します。どうぞ秋の一日を船場でお楽しみください。

主催:船場博覧会実行委員会



神農祭 11月22日(金)～23日(土)
少彦神社 道修町一帯に屋台が並びます

船場博覧会関連企画 11月22日(金)

博覧会期間中の11月22日(金)の夜、船場の近代建築をはじめとする大阪の建築の魅力を熱く語るトークセミナーを開催予定です。ご期待ください! 会場:綿糸会館(予定) 仮)大阪建築夜会開催準備事務局